

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学（病院）では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。

研究課題名	胃切除後の異時性多発癌の実態に関するアンケート
研究機関名	金沢医科大学
研究責任者	金沢医科大学 一般・消化器外科 小坂 健夫
研究期間	2018年2月～2019年12月
対象者	胃癌術後の残胃の癌に対し、2003年から2017年の間に当院で胃切除術を受けられた方。および、2003年から2012年の間に当院で胃癌に対する胃切除術を受けられた方。
当該研究の意義・目的	胃癌術後の患者は、あらたに残胃の癌に罹患する可能性があります。しかし、異時性多発胃癌の発生率や介在期間などは不明で、リスク因子や適切なフォロー方法もわかっていません。本研究は、胃外科・術後障害研究会の施設会員・個人会員を対象にアンケート調査を行い、各施設の結果を集計することにより、胃切除術後の異時性多発癌の発生状況と治療内容を明らかにすることを目的とします。
方法および研究で利用する試料・情報について	この研究は、残胃の癌に罹患した方の初回手術内容と治療内容を明らかとし、その実数を集計するものです。集計にあたっては診療録（カルテ）の情報を参照しますが、個人を特定できるような情報を集計することはありません。また、この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。上記期間中に集計で得られた症例数を本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。
外部への資料・情報の提供	残胃の癌に罹患した患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査し、共同研究機関へ提供します。初回手術の内容・初回手術からの介在期間・治療内容。また、胃切除術を受けられた方が経過観察中に残胃の癌を発生したか否か、罹患した場合は治療内容も集計します。全ての情報は症例数のみを集計して解析に利用させていただきます。個人を特定しうる情報は集計しません。新たな検査・治療は一切発生いたしません。情報は電子的データ送信により提供します。本アンケート調査では、各施設における症例数を調査するのみであり、個々の症例のデータは収集しないため、個人情報等の管理を要するデータを扱うことはありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
研究代表施設・代表者	金沢医科大学 一般・消化器外科 小坂 健夫
研究組織	胃外科・術後障害研究会 施設会員・個人会員 http://www.jsgp.jp/index.php?page=system_facilities ・ http://www.jsgp.jp/index.php?page=system_individual
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 一般・消化器外科 小坂 健夫 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511（2211）内線（3127）

作成日： 2018年01月18日